

令和2年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	海岸事業			担当部局庁	水管理・国土保全局		作成責任者		
事業開始年度	昭和24年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	海岸室		室長 田中 敬也		
会計区分	一般会計								
根拠法令(具体的な条項も記載)	海岸法(昭和31年5月12日)第6条、第27条、第37条の2			関係する計画、通知等	社会資本整備重点計画(社会資本整備重点計画法第4条)(第4次社会資本整備重点計画:平成27年9月18日閣議決定) 海岸保全基本計画(海岸法第2条)				
主要政策・施策	海洋政策、国土強靱化施策			主要経費	公共事業				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	津波、高潮、波浪、その他海水又は地盤の変動による被害から海岸を防護するとともに、海岸環境の整備と保全及び公共の海岸の適正な利用を図り、もって国土の保全に資する。								
事業概要(5行程度以内。別添可)	津波、高潮、波浪、海岸侵食による災害から背後の人命や財産の防護、国土保全に資することを目的に、被災のメカニズムや特性等を把握するため、海象観測や現地調査・地質調査等を実施し、その結果を基に対策工事の計画を立案するとともに、この計画に基づき、堤防、突堤、護岸、離岸堤等の整備を行う。 また、国土保全上極めて重要である沖ノ島島海岸で、海岸の維持管理を実施する。 国費率・補助率 直轄事業:国10/10、2/3 補助事業:国1/2 補助対象:都府県								
実施方法	直接実施、委託・請負、補助								
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求		
		当初予算	11,744	11,749	15,067	15,598	12,613		
		補正予算	1,270	2,525	5,322				
		前年度から繰越し	4,760	4,737	6,903	10,271			
		翌年度へ繰越し	▲ 4,737	▲ 6,903	▲ 10,271				
		予備費等	0	0	0				
	計	13,037	12,108	17,021	25,869	12,613			
	執行額	13,030	12,088	17,017					
執行率(%)	100%	100%	100%						
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	100%	85%	83%						
令和2・3年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由					
	海岸事業費	15,598	12,613	・「新型コロナウイルス感染症への対応など緊要な経費の要望額」として所要の要望を行っている。					
	その他	0	0						
	計	15,598	12,613						
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標	目標最終年度
	令和2年度に南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率を約39%から約69%まで引き上げる	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化) (=計画高までの整備と耐震性の確保が完了している延長/南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等で、耐震対策等により背後地の重要な保全対象等の防護が完了する海岸における堤防等の延長)	成果実績	%	47	53	58	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	69
			達成度	%	68	77	84	-	-
根拠として用いた統計・データ名(出典)	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)(農林水産省(農村振興局、水産庁)及び国土交通省(水管理・国土保全局、港湾局)調べ(令和2年3月))								

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 2 年度	
	令和2年度に現状の汀線防護が完了した割合を約74%から約76%まで引き上げる	侵食海岸において、現状の汀線防護が完了した割合(=現状の汀線防護が完了した延長/侵食海岸の延長)		成果実績	%	77	78	78	-
		目標値	%	-	-	-	-	76	
		達成度	%	100	103	103	-	-	
根拠として用いた統計・データ名(出典)	侵食海岸において、現状の汀線防護が完了した割合(農林水産省(農村振興局、水産庁)及び国土交通省(水管理・国土保全局、港湾局)調べ(令和2年3月))								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込	
	海岸事業実施箇所(直轄)	活動実績		箇所	12	12	12	-	-
		当初見込み	箇所	12	12	12	12	-	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込	
	海岸事業実施箇所(補助)	活動実績		箇所	-	-	2	-	-
		当初見込み	箇所	-	-	2	6	-	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
		単位当たりコスト		-	-	-	-	-	
		計算式	/	-	-	-	-	-	
政策評価、 新経済・ 財政再生 計画との 関係	政策	4 水害等災害による被害の軽減							
	施策	13 津波・高潮・侵食等による災害の防止・減災を推進する							
	測定 指標	定量的指標	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度	
		南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)		実績値	%	47	53	58	-
			目標値	%	-	-	-	69	
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係								
	大規模地震が想定されている地域等において、海岸堤防、突堤、護岸、離岸堤等の整備を実施することにより、整備率の向上に寄与する。								
	新経済・ 財政再生 計画との 関係 2019	取組事項	分野:	-	-				
		(第一 KPI 層)	KPI (第一階層)	単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
			成果実績		-	-	-	-	-
目標値			-		-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
(第二 KPI 層)		KPI (第二階層)	単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度	
	成果実績	-		-	-	-	-		
	目標値	-		-	-	-	-		
	達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係									

事業所管部局による点検・改善			
	項目	評価	評価に関する説明
国 必 要 投 入 の 性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	海岸の保全等を目的とした重要な事業であり、国民や社会のニーズは高い。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	海岸法等の関係法令に基づき、海岸の保全を目的に国が実施している重要な事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	海岸事業により、津波・高潮・侵食等による災害の防止・減災等を実施しており、優先度の高い事業である。
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	入札・契約手続きの透明性・競争性の確保に努めており、支出先は競争入札等の適切な入札・契約方式により決定している。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	一者応札及び一者応募となった案件は、同種・類似業務の実績がある業者が多数いることを把握したうえで、適切な発注条件のもと随意契約(企画競争)で発注した結果、一者のみの応札・応募となったものである。
	競争性のない随意契約となったものはないか。	有	競争性のない随意契約となった案件は、土地使用料等であり、その所有者は一者に限定されることから、その者との随意契約について問題は無い。
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	関係法令に基づいて費用を国と地方公共団体で分担している。関係都府県に対して、毎年度、事業費や実施内容等を説明するなど、効率的な事業執行及び透明性の確保に努めている。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	現地の施工条件に合わせ経済的な施工を行っている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	実施内容に応じて、地方整備局等へ適切に配分している。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	直轄事業については、事業目的に沿って予算を執行しており、その執行状況等を適切に把握・確認している。また、補助事業についても、事業目的に沿って適切に予算を配分しており、事業完了時に完了実績報告書等の提出を通じて把握に努めることとしている。
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
	繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	海岸事業の実施にあたり、関係機関との協議・許認可等に不測の日数を要したことに伴い、事業の執行が見込みを下回ったこと等のため。
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	事業実施にあたっては、複数の工法を比較検討し、効果的で低コストな工法を用いるなど、コスト縮減に努めている。
事 業 の 有 効 性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	成果目標の達成に向け着実に実績をあげている。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	複数の工法を比較検討し、効果的で低コストな工法を用いるなど、コスト縮減に努めている。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	活動実績は見込みに見合った実績をあげている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	整備した施設は、海岸保全の必要な機能を発揮している。
関 連 事 業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	<ul style="list-style-type: none"> 直轄事業については、予算の執行状況について、各地方整備局等を通じて確認し、事業の効果的・効率的な実施に努めている。また、資金の流れの検証ができるよう、全ての工事・業務等について契約額・支出先及び契約方式等を把握している。 直轄事業に関しては、限られた予算の中で、過去の被災履歴や海岸侵食の状況などの災害の起こりやすさと、背後地の資産集積状況など災害が発生した際に想定される被害の程度を勘案して事業実施の優先順位を明確にし、重点的な投資を行っている。 補助事業については、事業完了時に地方自治体より完了実績報告書等の提出を求めるほか、地方整備局職員による完了検査を実施し、事業目的に沿って事業が適切に実施されたか把握に努めることとしている。 引き続き、沖ノ鳥島の適切な維持管理のため、護岸コンクリートの損傷について点検やひび割れの補修等を行い、施設の延命化を図っている。 	
	改善の方向性	引き続き、限られた予算の中でコスト縮減に努め、効果的・効率的な海岸事業の推進を図る。	
外部有識者の所見			
-			
行政事業レビュー推進チームの所見			
一 部 の 改 善 内 容	気候変動に伴い頻発・激化する水災害の発生を防止するため、ハード・ソフトが一体となった事前防災対策を進めるとともに、引き続き、事業の効率性の向上及び透明性の確保に努めるべき。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
執 行 等 改 善	既に気候変動の影響は顕在化しており、頻発化・激化する水害に対する治水安全度の向上を図るため、ハード・ソフト一体となった事前防災対策を加速する。		

備考

【平成21年度事業仕分け評価結果】

- ・海岸環境整備事業
予算要求の縮減

【平成23年度提言型政策仕分け評価結果】

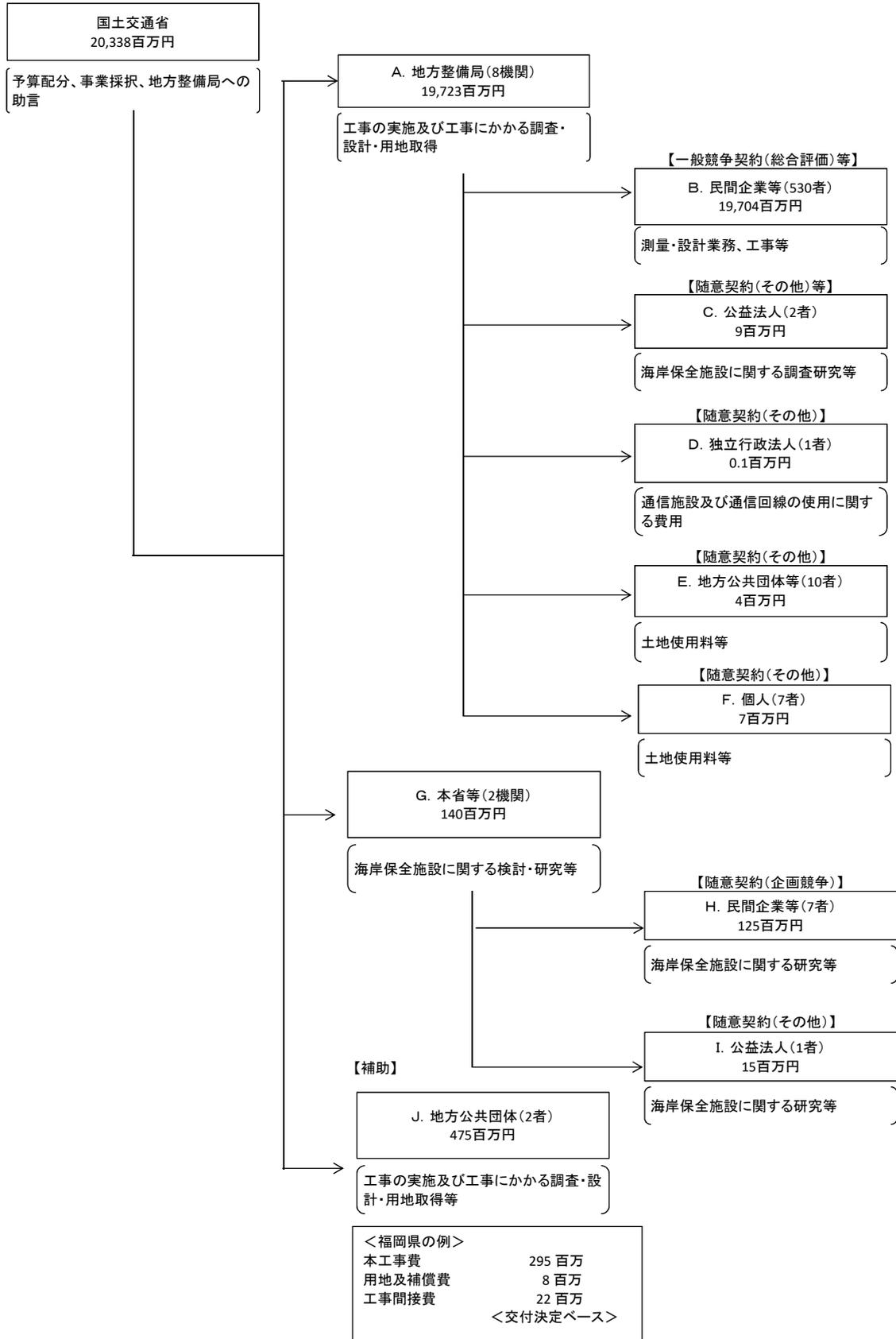
- ・公共事業: 中長期的な公共事業の在り方
 - 公共事業について、現状では持続可能性がない。新規投資は厳しく抑制していき、選択と集中の考え方をより厳格に進めるべき。
 - また、民間資金の一層の活用を図るべき。この前提として、公共事業の全体像について一層の説明責任を果たすべき。
 - 既存ストックの維持管理・更新については、民間資金の一層の活用を図るとともに重点化や長寿命化を図りつつ、見通しを立てた計画的な更新を行うべき。
- ・公共事業: 災害に強い国土づくり
 - 防災の取組みは、なお不十分である。国は自治体への「技術的な支援」をより一層強化すべき。
 - また、国と自治体との検討の場を設けるなど、相互連携を進める中で、既存施策にとられない新たなソフト対策を検討していくべき。

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	193	平成23年度	163	平成24年度	171	平成25年度	22
平成26年度	23	平成27年度	23	平成28年度	30	平成29年度	29
平成30年度	27						
平成31年度	国土交通省 (0027)						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何をやっているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



※営繕宿舍費を除く

※契約額ベース(但し、Jの地方公共団体については、配分国費を記載。都道府県の代表事例については、交付決定ベースで記載。)

費目・使途 (「資金の流れ」に おいてブロックご とに最大の金額 が支出されている 者について記載 する。費目と使途 の双方で実情が 分かるように記 載)	A.中部地方整備局			B.鈴与建設(株)		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	直轄工事費	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	5,100	工事費	海岸保全工事	605
	計		5,100	計		605
	D.独立行政法人 水資源機構 中部支社			E.志太榛原農林事務所		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	施設管理費	電気通信料	0.1	用地及び補償費	土地使用料	0.1
	計		0.1	計		0.1
G.国土技術政策総合研究所			H.八千代エンジニアリング(株)			
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
測量設計費	海岸事業に関する検討・研究	140	測量設計費	海岸事業に関する研究・検討	40	
計		140	計		40	
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

※B, C, D, E, Fについては、「A. 地方整備局(8機関)」のうち、支出額が大きい中部地方整備局を代表として、各ブロック(B, C, D, E, F)の上位1者を記載。

(中部地方整備局については、C. 公益法人、F. 個人は該当無し)

※H, IIについては、「G. 本省等(2機関)」のうち、最も支出が大きい国土技術政策総合研究所を代表として、各ブロック(H, I)の上位1者を記載。

支出先上位10者リスト

A. 地方整備局

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	関東地方整備局	2000012100001	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	6,263	—	—	—	
2	中部地方整備局	2000012100001	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	5,100	—	—	—	
3	北陸地方整備局	2000012100001	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	3,985	—	—	—	
4	四国地方整備局	2000012100001	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	1,785	—	—	—	
5	東北地方整備局	2000012100001	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	901	—	—	—	
6	近畿地方整備局	2000012100001	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	650	—	—	—	
7	九州地方整備局	2000012100001	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	596	—	—	—	
8	中国地方整備局	2000012100001	工事の実施及び工事にかかる調査・設計等	443	—	—	—	

※B, C, D, E, Fについては、「A. 地方整備局(8機関)」のうち、支出額が大きい中部地方整備局を代表として、各ブロック(B, C, D, E, F)の上位10者を記載。

(中部地方整備局については、C. 公益法人、F. 個人は該当無し)

※H, IIについては、「G. 本省等(2機関)」のうち、最も支出が大きい国土技術政策総合研究所を代表として、各ブロック(H, I)の上位10者を記載。

※B, C, D, E, F, H, IIについて複数契約がある場合、業務概要、契約方式、入札者数、落札率は、最も支出額が大きいものを代表的に記載。

B. 民間企業

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	鈴与建設(株)	9080001009462	海岸保全工事	605	一般競争契約 (総合評価)	5	95.1%	-
2	高橋建設(株)	1080001008604	海岸保全工事	575	一般競争契約 (総合評価)	5	94.1%	-
3	(株)橋本組	2080001015112	海岸保全工事	459	一般競争契約 (総合評価)	7	90.7%	-
4	静和工業(株)	5080001002504	海岸保全工事	411	一般競争契約 (総合評価)	1	91.6%	-
5	(株)グロージオ	4080001013287	海岸保全工事	410	一般競争契約 (総合評価)	6	92.9%	-
6	遠藤建設(株)	1080101008231	海岸保全工事	348	一般競争契約 (総合評価)	3	95.4%	-
7	日鋪建設(株)中部 支店	2010901009368	海岸保全工事	323	一般競争契約 (総合評価)	6	90.9%	-
8	(株)井出組	6080101008136	海岸保全工事	209	一般競争契約 (総合評価)	2	96.9%	-
9	大河原建設(株)	5080001012940	海岸保全工事	205	一般競争契約 (総合評価)	5	93.7%	-
10	(株)特種東海フォレ スト	5080001013204	海岸保全工事	186	一般競争契約 (総合評価)	4	95.1%	-

D. 独立行政法人

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	独立行政法人 水資 源機構 中部支社	6030005001745	電気通信料	0.1	随意契約 (その他)	1	100%	-

E. 地方公共団体等

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	志太榛原農林事務 所		土地使用料	0.1	随意契約 (その他)	1	100%	-

※B, C, D, E, Fについては、「A. 地方整備局(8機関)」のうち、支出額が大きい中部地方整備局を代表として、各ブロック(B, C, D, E, F)の上位10者を記載。

G. 本省等

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国土技術政策総合研究所	2000012100001	海岸事業に関する研究・検討	140	—	—	—	—

H. 民間企業等

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	八千代エンジニアリング(株)	2011101037696	海岸事業に関する研究・検討	40	随意契約 (企画競争)	4	99.6%	—
2	(株)エコー	2010501016723	海岸事業に関する研究・検討	29	随意契約 (企画競争)	2	99.6%	—
3	アジア航測・みずほ情報総研設計共同体	—	海岸事業に関する研究・検討	20	随意契約 (企画競争)	3	95.9%	—
4	(株)建設技術研究所	7010001042703	海岸事業に関する研究・検討	18	随意契約 (企画競争)	3	99.8%	—
5	(株)パスコ	5013201004656	海岸事業に関する研究・検討	10	随意契約 (企画競争)	2	97.8%	—
6	(株)アルファ水エコンサルタンツ	3430001001109	海岸事業に関する研究・検討	9	随意契約 (企画競争)	2	96.5%	—
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	<input checked="" type="checkbox"/>

※B, C, D, E, Fについては、「A. 地方整備局(8機関)」のうち、支出額が大きい中部地方整備局を代表として、各ブロック(B, C, D, E, F)の上位10者を記載。
 (中部地方整備局については、C. 公益法人、F. 個人は該当無し)
 ※H, IIについては、「G. 本省等(2機関)」のうち、最も支出が大きい国土技術政策総合研究所を代表として、各ブロック(H, I)の上位10者を記載。
 ※B, C, D, E, F, H, IIについて複数契約がある場合、業務概要、契約方式、入札者数、落札率は、最も支出額が大きいものを代表的に記載。

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	B	(株)ティーネットジャパン 名古屋支社	6470001002109	発注者支援業務	16	一般競争契約 (総合評価)	3	80%	—
2	B	PS・テクノス設計共同体	—	発注者支援業務	7	一般競争契約 (総合評価)	2	99.3%	—
3	B	PS・テクノス設計共同体	—	発注者支援業務	5	一般競争契約 (総合評価)	2	99.3%	—

※国庫債務負担行為等による契約先上位10社については、「A. 地方整備局(8機関)」のうち、支出額が大きい中部地方整備局を代表として記載。

令和2年度行政事業レビューシート (国土交通省)

事業名	海岸事業			担当部局庁	港湾局		作成責任者		
事業開始年度	昭和25年度	事業終了 (予定) 年度	終了予定なし	担当課室	海岸・防災課		課長 安部 賢		
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	海岸法(第6条、第27条)			関係する 計画、通知等	社会資本整備重点計画(平成27年9月18日閣議決定) 海岸保全基本計画(海岸法第2条)				
主要政策・施策	海洋政策、国土強靱化施策			主要経費	公共事業				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	津波、高潮、波浪その他海水又は地盤の変動による被害から海岸を防護するとともに、海岸環境の整備と保全及び公衆の海岸の適正な利用を図り、もって国土の保全に資する。								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	津波、高潮、波浪、海岸侵食による災害から背後の人命や財産を防護し、国土保全に資することを目的に、堤防、突堤、護岸、離岸堤等の整備を行う。 国費率 直轄事業：国10/10、2/3 補助事業：国1/2、2/5								
実施方法	直接実施、委託・請負、補助								
予算額・ 執行額 (単位：百万円)	予算 の 状 況		平成29年度	30年度	令和元年度	2年度	3年度要求		
		当初予算	9,517	9,492	14,050	13,331	10,687		
		補正予算	1,172	4,830	3,618	-			
		前年度から繰越し	2,660	2,955	7,358	9,092	-		
		翌年度へ繰越し	▲ 2,955	▲ 7,358	▲ 9,092	-			
		予備費等	-	-	-	-			
	計	10,394	9,919	15,934	22,423	10,687			
	執行額	10,383		9,917	15,932				
	執行率 (%)	100%		100%	100%				
	当初予算+補正予算に對する 執行額の割合 (%)	97%		69%	90%				
令和2・3年度 予算内訳 (単位：百万円)	歳出予算目	2年度当初予算	3年度要求	主な増減理由					
	海岸保全施設整備事業費	12,183	9,539	「新型コロナウイルス感染症への対応など緊要な経費」として所要の要望を行っている。					
	海岸保全施設整備事業費 補助	1,005	1,029						
	海岸事業調査費	42	42						
	営繕宿舍費	16	16						
	後進地域特例法適用団体 補助率差額	85	61						
	計	13,331	10,687						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 2 年度
	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率を約69%とする。	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)(=計画高さまでの整備と耐震性の確保が完了している延長/南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等で、耐震対策等により背後地の重要な保全対象等の防護が完了する海岸における堤防等の延長)	成果実績	%	47	53	58	-	-
			目標値	%	-	-	-	-	69
			達成度	%	68.1	76.8	84.1	-	-
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)(農林水産省(農村振興局、水産庁)及び国土交通省(水管理・国土保全局、港湾局)調べ(令和2年3月))								

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 2 年度	
	侵食海岸において、現状の汀線防護が完了した割合を令和2年度までに約76%までとする。 侵食海岸において、現状の汀線防護が完了した割合(=現状の汀線防護が完了した延長/侵食海岸の延長)	成果実績		%	77	78	78	-	-
	目標値	%	-	-	-	-	76		
	達成度	%	101.3	102.6	102.6	-	-		
根拠として用いた統計・データ名(出典)	侵食海岸において、現状の汀線防護が完了した割合(農林水産省(農村振興局、水産庁)及び国土交通省(水管理・国土保全局、港湾局)調べ(令和2年3月))								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度 活動見込	3年度 活動見込	
	海岸事業実施箇所数	活動実績		箇所	10	8	9	-	-
		当初見込み	箇所	9	8	9	15	-	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	2年度活動見込		
	執行額/海岸事業実施箇所数	単位当たりコスト		百万円/箇所	1,038	1,240	1,770	1,495	
		計算式	百万円/箇所	10,383/10	9,917/8	15,932/9	22,423/15		
政策評価、 新経済・ 財政再生計画との関係	政策	4 水害等災害による被害の軽減							
	施策	13 津波・高潮・侵食等による災害の防止・減災を推進する							
	測定指標	定量的指標		単位	平成29年度	30年度	令和元年度	中間目標 - 年度	目標年度 2 年度
		57 南海トラフ巨大地震・首都直下地震等の大規模地震が想定されている地域等における海岸堤防等の整備率(計画高までの整備と耐震化)	実績値		%	47	53	58	-
			目標値	%	-	-	-	69	
本事業の成果と上位施策・測定指標との関係									
津波、高潮、波浪による災害から背後の人命や財産を防護し、国土保全に資することを目的に、堤防、突堤、護岸等の整備を行う。									
新経済・ 財政再生計画 改革工程表 2019	取組事項	分野:	-						
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-		-	-	-	-	
		目標値	-		-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		単位	計画開始時 - 年度	元年度	2年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 - 年度
		成果実績	-		-	-	-	-	
目標値		-	-		-	-	-		
	達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と取組事項・KPIとの関係									
-									

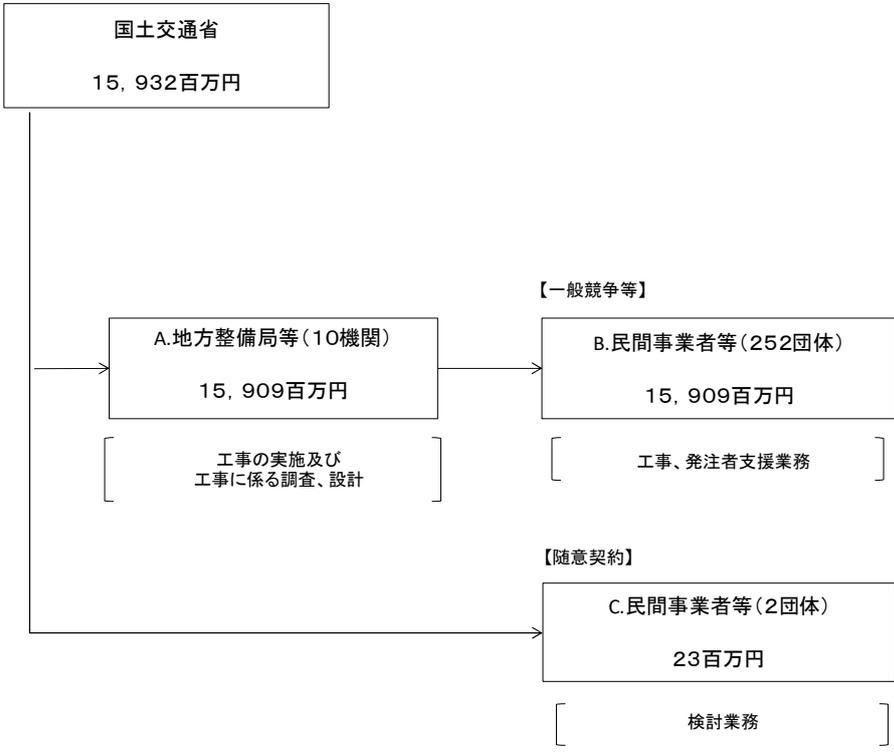
事業所管部局による点検・改善				
	項目	評価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	災害から人命や財産を防護し、国土保全に資することを目的としており国民や社会のニーズを的確に反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	工事規模が著しく大きく、高度の技術力を必要とするもので、国土保全上特に重要な海岸を直轄事業で実施している。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	社会資本整備重点計画において指標を立て、重点目標にも合致しており、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	入札・契約手続きの透明性・競争性の確保に努めており、支出先は競争入札等により選定している。	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有		
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無		
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	海岸法等に基づき海岸管理者から負担を求めている。	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	現地の施工条件に合わせ経済的、かつ、海岸事業の目的に即した設計・施工を行っている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	地方整備局等において事業に必要な契約による適切な支出を行っている。	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	限られた予算の範囲において、事業目的に沿って真に必要な事業を実施している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	○	関係機関や地元との調整に時間を要した事などによるものである。		
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	複数の工法を比較検討し、効果的で低コストのものを選択するなどコスト削減に努めている。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	限られた予算の範囲において、効率的な配分の観点から、早期に効果が発揮できる箇所に予算を集中させており、成果目標に見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	複数の工法を比較検討し、効果的で低コストのものを選択するなどコスト削減に努めている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	事業箇所を適切に管理し、計画的な実施に努めている。	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	整備された施設は、津波、高潮、侵食に対して十分な防護効果を発揮している。	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	○	海岸法等の関係法令に基づき、適切な役割分担となっている。	
	所管府省名	事業番号		事業名
	国土交通省	0418		社会資本整備総合交付金
	国土交通省	0419		防災・安全交付金
点検・改善結果	点検結果	海岸事業は、津波、高潮、侵食による災害から背後の人命や財産を防護し、国土保全に資する必要不可欠な事業である。直轄事業については、予算執行状況について、各地方整備局から確認し、事業の効果的・効率的な実施に努めている。また、資金の流れの検証ができるよう全ての工事・業務について契約額・支出先及び契約方式を把握している。		
	改善の方向性	引き続き、適切な競争入札や事業評価の実施によりコスト削減を図りつつ、限られた予算の範囲において、早期に効果が発揮できる箇所に予算を集中させ効率的な事業実施に努める。		
外部有識者の所見				
-				
行政事業レビュー推進チームの所見				
一部改善内容	繰越額が増加傾向にあるため、その原因等を検証し、計画的な事業執行に努めること。また、逼迫する大規模災害に備え、事業効果が最大限に発揮できるよう、計画的な事業実施に努められたい。			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況				
執行等改善	事業実施に際して、当初想定し得ない自然災害の発生等により、実施内容の見直しが必要となったことで、工期延伸に伴う予算の翌年度繰越し等により事業実施せざるを得ない状況となった。今後はより詳細な事前調査等により、不測の事態を極力回避するとともに、計画的な実施により繰越額の縮減を図りたい。 また、南海トラフ地震津波避難対策特別強化地域等、事業箇所の緊急性・重要性を鑑み、重点配分することにより、限られた予算の中で最大限の事業効果を発揮させるとともに、計画期間内での完了に向けて、事業進捗管理を徹底することとしたい。			
備考				
-				

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成22年度	365	平成23年度	339	平成24年度	353	平成25年度	26
平成26年度	27	平成27年度	27	平成28年度	35	平成29年度	34
平成30年度	35						
平成31年度	国土交通省 (0032)						

※令和元年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位: 百万円)



費目・用途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A.九州地方整備局			B.東亜建設工業(株)		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
事業費	海岸保全施設整備事業費	5.201	事業費	和歌山下津港海岸(海南地区)築地護岸築造工事	530
				令和元年度下関港海岸(長府・壇ノ浦地区)護岸(改良)工事	351
				平成31年度下関港海岸(山陽地区)護岸(改良)工事(新川水門)における臨機の措置費用負担額	195
				新潟港海岸(西海岸地区)突堤上部工事	173
				平成31年度下関港海岸(山陽地区)護岸(改良)工事(新川水門)	142
				平成29年度下関港海岸(長府・壇ノ浦地区)護岸(改良)工事(4工区)	13
				和歌山下津港海岸(海南地区)築地護岸附帯施設設置工事	1
				平成31年度下関港海岸(長府・壇ノ浦地区)仮置場復旧	1
				平成31年度下関港海岸(山陽地区)侵入防止対策工事	1
				土地4,820㎡賃貸借	1
計		5.201	計		1,408
C.(国研)海上・港湾・航空技術研究所 港湾空港技術研究所			D.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
事業費	海岸堤防等の沈下対策のコスト縮減のための技術開発に係る研究	18			
計		18	計		0

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	九州地方整備局	2000012100001	海岸保全施設整備事業	5,201	その他	-	-	
2	近畿地方整備局	2000012100001	海岸保全施設整備事業	2,926	その他	-	-	
3	中部地方整備局	2000012100001	海岸保全施設整備事業	2,193	その他	-	-	
4	四国地方整備局	2000012100001	海岸保全施設整備事業	2,068	その他	-	-	
5	北陸地方整備局	2000012100001	海岸保全施設整備事業	1,759	その他	-	-	
6	中国地方整備局	2000012100001	海岸保全施設整備事業	1,568	その他	-	-	
7	国土技術政策総合研究所	2000012100001	海岸保全施設整備事業	174	その他	-	-	
8	関東地方整備局	2000012100001	海岸保全施設整備事業	20	その他	-	-	
9	東北地方整備局	2000012100001	海岸保全施設整備事業	0	その他	-	-	
10	国土地理院	2000012100001	海岸保全施設整備事業	0	その他	-	-	

B.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	東亜建設工業(株)	3011101055078	和歌山下津港海岸(海南地区)築地護岸築造工事等	1,410	一般競争契約 (総合評価)	5	92.1%	
2	あおみ建設(株)	6010401076946	平成31年度大分港海岸(津留地区)護岸(改良)鋼矢板打設工事等	1,320	一般競争契約 (総合評価)	9	91%	
3	りんかい日産建設(株)	3010401031409	和歌山下津港海岸(海南地区)船尾南護岸築造工事等	935	一般競争契約 (総合評価)	8	90.2%	
4	若築建設(株)	6290801012011	高知港海岸湾口地区堤防(改良)工事等	834	一般競争契約 (総合評価)	9	90%	
5	五洋建設(株)	1010001000006	和歌山下津港海岸(海南地区)日方水門築造工事等	804	一般競争契約 (総合評価)	4	90.3%	
6	関門港湾建設(株)	7250001005289	平成31年度下関港海岸(長府・壇ノ浦地区)護岸(改良)工事(4-5-1工区)等	691	一般競争契約 (総合評価)	1	99.8%	
7	(株)大本組	7260001001493	平成31年度 津松阪港津地区(栗真町屋)3-1工区堤防(改良)本体工事等	685	一般競争契約 (総合評価)	6	90.2%	
8	(株)本間組	6110001005155	新潟港海岸(西海岸地区)突堤築造工事等	651	一般競争契約 (総合評価)	3	90.1%	
9	日本土建(株)	5190001000827	平成30年度 津松阪港津地区(阿漕浦・御殿場)1-2工区堤防(改良)本体工事等	519	一般競争契約 (総合評価)	3	89.9%	
10	(株)山野建設	4190001007121	平成30年度 津松阪港津地区(阿漕浦・御殿場)2-2工区堤防(改良)本体工事等	517	一般競争契約 (総合評価)	3	89.9%	

C.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	(国研)海上・港湾・航空技術研究所港湾空港技術研究所	5012405001732	海岸堤防等の沈下対策のコスト縮減のための技術開発に係る研究	18	随意契約 (公募)	1	100%	
2	(一財)沿岸技術研究センター	2010005018571	港湾における大規模地震・津波対策の課題検討調査	5	随意契約 (企画競争)	1	99.3%	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	B	みらい建設工業(株)	1010401078435	平成31年度 津松阪港津地区(阿漕浦・御殿場)3-1工区堤防(改良)本体工事	592	一般競争契約 (総合評価)	7	90%	
2	B	五洋建設(株)	1010001000006	新潟港海岸(西海岸地区)護岸養浜工事(その4)	381	一般競争契約 (総合評価)	8	90.6%	
3	B	(株)本間組	6110001005155	新潟港海岸(西海岸地区)突堤基礎工事	285	一般競争契約 (総合評価)	8	90.1%	
4	B	(一財)港湾空港総合技術センター	5010005002705	技術審査補助業務等	8	一般競争契約 (総合評価)	1	95.7%	
5	B	ポートコンサルタント(株)	5010001007113	令和元年度 津松阪港津地区(阿漕浦・御殿場)2-1工区実施設計	6	一般競争契約 (総合評価)	1	80.4%	